



⇒E-mail [fureainpo@gmail.com](mailto:fureainpo@gmail.com)

⇒ホームページ  
<http://www.fureai-support.jp/>



10・11月号  
令和5年9月29日

- 法人事務所・アトリエ TEL 0244 (36) 5420  
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

暑さ寒さも彼岸までと云われていますが、秋だというのに厳しい残暑が続く異常気象。また、各地で線状降水帯が発生し災害が多発。その原因である地球温暖化を防止するために、私達ができる事、しなければならない事を危機感をもって一人一人が温暖化ストップのための行動を起こさねばと強く思います。

食欲の秋、皆さんが5月に植えた稲は例年より早く実り、高橋さんが刈り取り、新米が届きました。

早速新米オニギリを自分で握って食べました。香ばしい甘い香りとモチモチの食感の新米のお味を楽しみました。

芸術の秋、1学期に「はっぱの模様のお皿」2学期は「マイカップ」を作りました。開窯してから28年になる友遊窯で焼きます。



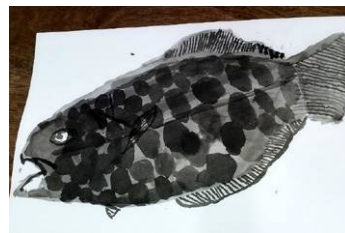
花火をしたよ(未就学児コース)



美味しかったスイカ(低学年コース)



スクラッチアート(高学年コース)



墨絵・ヒラメ(中学生〜コース)

### 8・9月のかがぞうけいきょうしつでは…

#### 未就学児 ウオッチング

丸い和紙を4回折って、チョンチョンチョン3色の絵の具を染みこませる…そーっと和紙を広げる。打ち上げ花火のできあがり。和紙を広げるまでワクワク感、ドキドキ感いっぱい。「うわーきれい」「もう一つ作りたい」とみんな大はしゃぎ！アトリエで楽しい花火大会ができました。

#### 小学生 ウオッチング

あちこちの学校からきているので遠慮がちで緊張していた子も、2学期に入り関係性を築き、和やかな雰囲気になってきた小学生コース。自分を見つめる。他人と比べる。考えて、工夫して、創造して…いろいろな過程を踏んで作品完成。絵の完成は、努力のたまものです。

#### 陶芸教室：ジュースのかんに粘土を巻いてマイカップ作り

信楽焼きの白粘土でマイカップを作りました。先生のお話をちゃんと聞いてたきねり50回。粘土を伸ばすの大変だったけど、ウサギやクマの模様を型押しして完成。只今乾燥中！！ 湯呑み茶碗、ミルクカップ、花瓶…何に使いましょうか？焼き上がりをおたのしみに…。焼きあがった作品は、鑑賞の体験を深めるため修了制作展に展示します。

### 10・11月の活動予定 & 事務連絡

- ◎きょうしつは ●カレンダー作り
- ◎体験活動 ※詳しくは別紙をご覧ください。
- 味噌づくり体験 10月15日(日)
- いもほり体験 11月 3日(金・祝)  
雨天の場合4日

※年間の予定表では12日でしたが、芋の生育が早いので3日に変更させていただきます。時間も変更になっています。

場 所 南飯淵アトリエ・デイサービス友遊

時 間 9時30分から11時30分

#### ◎ご請求は

- 10月は 月会費に パネル額装代 3,300円
- 11月は 月会費に 展覧会費 2,500円

を加えてご請求します。

## おじいちゃん・おばあちゃん いつも ありがとうございます。

デイサービス友遊も開所してから11年が経過しました。おじいちゃん・おばあちゃんは、子ども達のパワーを吸収し笑顔が甦る。

そして、子ども達は交流を通して思いやりのある優しい心が育まれ、それを自然な形で体現している様子は微笑ましい。

子ども達の望ましい育ちにはなくてはならない大きな存在のおじいちゃん・おばあちゃんです。

アトリエは交流により更によい環境が生まれ嬉しい限り。より安心して生活できるリンクされたオアシスを作っております。

少子高齢社会・核家族の多い今日。子育て・介護問題と、家族が抱える問題は深刻になってきています。

ますます憩いと安らぎの空間を創造する責務を感じ、アトリエの果たすべき役割を、これからも担っていきたいと思います。

9月18日は敬老の日でした。敬老のお祝いに、7月に手作りしましたお皿を焼き上げお渡しました。

相馬市青少年健全育成市民会議・団体活動奨励事業  
2泊3日リーダー育成「サマー合宿」を終えて

自分達が小学生時代にアトリエで体験した「合宿」を、後輩達にも体験させたい。という想いを、アトリエと一緒に学んだ卒業生達に声をかけ、今度は自分達が主体になって企画、主催することになりました。

私は小学3年生の時、アトリエの3泊4日の合宿に初めて参加しました。興味本位で参加したものの最年少だったことや知っている人が少なかったこともあって「家に帰りたい・・・」と、泣いて大騒ぎしてしまいました。それでも高校生のリーダーに慰めてもらったことで最終日まで何とか過ごすことができました。終る頃には知り合いが増え、慣れない場所でも何とか適用しようとがんばる自分になった気がしました。

小学6年生になり、再び「合宿」に参加しました。そこでの私は、寂しくて泣いてしまった子を慰める立場になっていました。自分が心細くて不安だった同じ体験がなかったら相手を思いやることもできなかったと思います。あの時の苦い経験がそこでの「合宿」で自分の成長を感じることが出来ました。私は他の子ども達にも、同じような成長を実感できるような体験をしてもらいたいと思いました。先生方からアドバイスを受け相馬市青少年健全育成市民会議・団体活動奨励事業に応募しました。その手続きで初めて教育委員会に出向くなど、自分が主体となってやるのは初めてだったので大変さを知りました。

食事作りや買い出しや掃除、野菜の収穫、一人暮らしのお年寄りの訪問等で、いろいろな体験をしたくさんの学びがありました。参加したみんなも成長できる機会になったと思います。

最後に、いろはリーダーの「夢を叶える勉強法」の講座は、ためになるいいお話で、自分も勉強に対する態度を少しずつ変えるようにしたいと思いました。

(元気クラブ代表・R、小野内清人・相高1年)



ようこそ先輩夏休みの思い出作ろう！  
今年もワクワク楽しかった「夏の特別授業」

8月20日(日)、午後の日差しの中、お家の人に送られて子ども達が、次々と車から降りて来ました。その時、あるお母さんが「とても楽しみにしていたんですよ。」と、おっしゃってくださいました。その言葉で、子ども達が今日の特別授業にどれだけワクワクしてやってきたか知り、とても嬉しくなりました。

今年は、倉本信之先生の旧知の仲でもある中国の東北師範大学美術学院教授の費明宇先生の本格的な水墨画の授業がありました。未就学児には難しいかも…?と、心配しましたが、自己紹介で、アコーディオンを演奏して聞かせてくれた費先生の楽しく、気さくな人柄もあってか、『この子達いつもの子ども達なの?』と思うほどの集中力で、夢中になって「雀の水墨画」を完成させていました。

もう一つの授業は、仙台の東北生活文化大学高校と相馬高校の美術部員生が中心になり「スクラッチアート」を体験しました。高校生は、子ども達に寄り添って優しくやり方を教えていました。思い思いの絵を、迷わずにどんどん割りばしで描いていく子ども達を見て、『さすが絵画教室の子たちだ』と感心しました。

子どもたちの感想は、「むずかしかったけど、楽しかった」がほとんどでした。初めての事に挑戦するのは、大人でも難しく、苦手意識も芽生えてしまうものです。しかし、子どもたちは仲間と体験することで、難しさも楽しめるようになってきたのだなと成長を感じました。

見送り時、水墨画の色紙とスクラッチアートを両手に抱えて、迎えに来た車に乗り込み、得意気に作品を見せている子ども達。「すごーい!」と、驚きの声をあげているお家の人。そんな光景を眺めながら、今年の「夏休み特別授業」も子ども達の大きな宝物になったなあと思いました。さっきまで暑かったはずが、ちょっとさわやかな風が変わった気がしました。(S、遠藤 裕子)



悠久の民「チベット巡礼作品展」を終えて

京都銀閣寺近くにある法然院で、チベット取材四半世紀を機に9月5日から10日まで開催された展覧会。苔むした緑深い法然院の展覧会場には、9月5日から10日までの連日、60人にもよる方々に、蝉の声と虫の声をBGMに、ご高覧いただきました。倉本も新たな会場で作品と向かい合い、一点一点の作品が曼荼羅となって自分に新たに語りかけてきてくれたことは驚きであり至福の時間だったようです。今後の制作に向けての大きなエネルギーになったものと思います。

今回の展覧会も成功裏に終えることができたのも多くの皆様のおかげです。車で10時間以上もかけ作品を運び、飾りつけ、後片付けと会場設営をしてくれた友美子先生ご夫妻はじめ、遠方よりわざわざ足を運んでくださった元教室生、旧知の同級生、友人、知人、他多くの皆さんと京都でお会いでき感無量でした。また地元の皆様にはチベットで受けたような温かい施しをいただき、嬉しい限り。皆さまに感謝です。京都での体調管理は元教室生の夕佳里ちゃんが計画を立ててくれ、心強く安心して過ごせた1週間でした。今回の展覧会の出会いに感動、感激、感謝で帰路につきました。心より御礼申しあげます。留守を守っていただいた皆さんもありがとうございました。

この展覧会を機に「旅する画家 倉本信之 悠久の民 チベット巡礼作品集」を出版しました。旅した記録写真も編集してあります。皆さまも一緒にチベット巡礼をしていただければ幸いです。



アトリエにありますので  
ご自由にご覧下さい。